厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区　Atsugi Rotary Club Weekly

会長　前田賢一
副会長　会田義明
幹事　滝澤　勇
副幹事　鈴木茂男
会報・IT　今井一男

ロータリーに輝きを

2014～2015　国際ロータリー会長　ゲイリー C.K ホァン

例会場　厚木商工会議所 5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第2638回例会（1月13日）☆司会　森住　等 副SAA

点鐘　…前田賢一会長

斉唱　…奉仕の理想

ゲスト紹介

法城寺（ほうじょうじ） 澄鐵（ちょうてつ）様（研師）

会長報告

◎ガバナー事務所　より
・インターアクト一泊研修会ご参加のお願い
2015年3月28日（土）～29日（日）
厚木私立七沢ふれあいセンター

◎厚木市役所　より
・市制60周年記念式典　ご案内
2015年2月1日（日）午前9時15分から
厚木市文化会館
・「友好交流ニュース第18号」の送付
・平成26年度第2回厚木市セーフコミュニティ推進会議の開催について

◎県央経営者会　より
・「新春のつどい」のご案内

スマイル

前田賢一会長・滝澤　勇幹事
厚木3ロータリークラブ合同賀詞交歓会に多くの会員にご参加いただきました。ありがとうございました。今年度もあと半年となりました。最後まで皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

滝澤　勇幹事
12月26日、故吉川博宣会員の告別式に参列し、出棺をお見送りしました。出棺前、棺にお花を供えましたが、吉川会員は安らかなお顔をされていました。

飛鳥井豊君
1月10日、孫の結婚式に出席しました。（名古屋にて）

本多正彦君
昨年末の最終例会は所用で出席出来ず一年間の御面倒をかけた事の御礼を申し上げられませんでした。又新年の3クラブ合同例会も業界の会と重なり欠席しました。改めて新年のお慶びと今年一年よろしくお願い致します。

髙橋　宏君
すっかり結婚記念日忘れてました。助かりました。

小山賢司君
本年もよろしくお願い致します。

髙橋　浩君
新年早々すいません。税務署で研修があるため早退させて頂きます。

今日のお祝い　「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

＊入会記念日
滝澤　勇君（H21. 1.20）
会田義明君（H19. 1.23）

今日の例会（2015年1月20日）

「紛争体験」
講師：青谷　亮様
担当：前島憲司君

次回の例会（2015年1月27日）

「クラブフォーラム」
担当：クラブ研修リーダー 山本淳一君

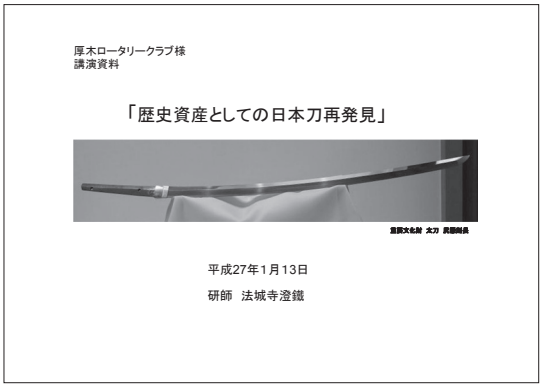
今日のお花

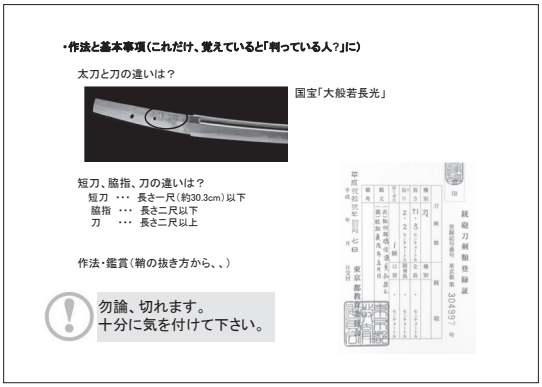
くちなしの実（壽永純昭君）

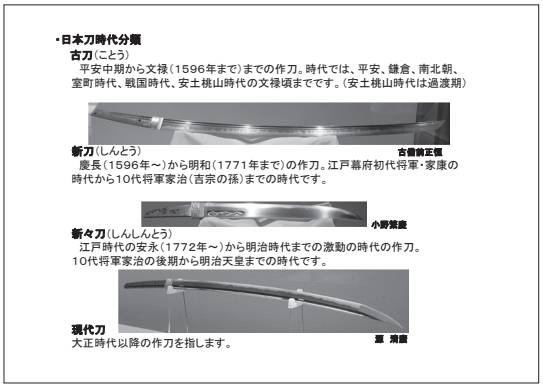
卓話「歴史資産としての日本刀再発見」

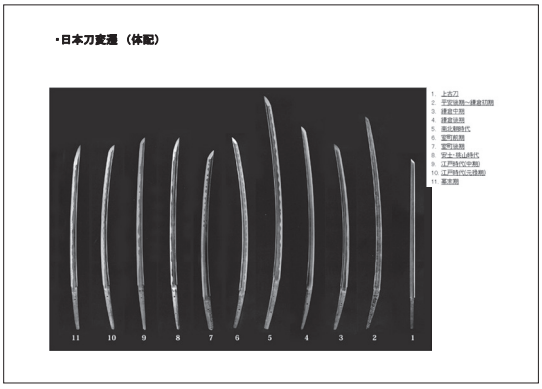
講師：研師（とぎし）　法城寺（ほうじょうじ） 澄鐵（ちょうてつ）様

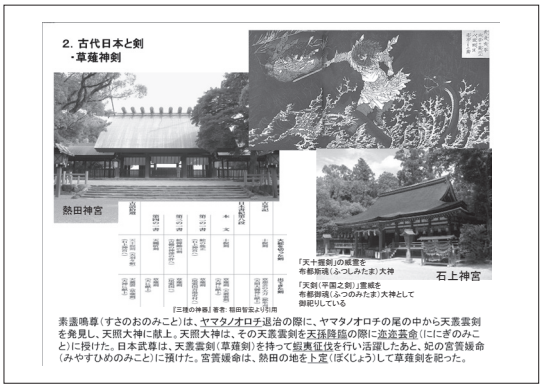
担当：今井一男君











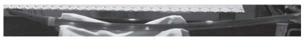
・鎌倉時代初期

御番鍛冶制度

源頼朝の死後、北条氏の策略によって源氏の将軍は三代で絶え、北条氏が幕府の実権を握りました。武士による政治ではなく、王政復古を目指した後鳥羽上皇は、北条氏追討のために北面・西面の武士制度を設けて武士を集め、倒幕の士気を高めるために、全国から刀鍛冶の名匠を京都へ呼び寄せ、月番を決めてそれらの名匠に太刀を打たせました。
これを御番鍛冶制度（ごばんかじせいど）と呼びます。後鳥羽上皇は日本刀の鑑識眼にも優れ、自らも鍛刀し、御番鍛冶が打った太刀や自ら焼き入れを行った太刀を公卿（くぎょう）や殿上人（てんじょうびと）などに与え、大いに士気を高めたと言われます。
御番鍛冶には月番12名のもの、月番24名のもの、隠岐番鍛冶（おきばんかじ）の三種類のものが伝わっていますが、その内容については諸説あり、『正和銘尽（しょうわめいづくし/鎌倉後期の日本刀鑑定書）』などによると、42名の刀工が挙げられます。
その内訳は備前国26名、山城国7名、備中国4名、美作国2名、伯耆国・豊後国・大和国が各1名となり、飛び抜けて備前鍛冶が多い。
通説の御番鍛冶は、奉授工（ほうじゅこう/上皇に鍛刀の手ほどきを行う刀工）として、山城国の粟田口久国、備前国信房の2名があたり、各月の担当鍛冶は次のようになっています。

後鳥羽上皇

一月:備前国則宗	二月:備中国貞次	三月:備前国延房	四月:山城国国安
五月:備中国恒次	六月:山城国国友	七月:備前国宗吉	八月:備中国次家
九月:備前国助宗	十月:備前国行国	十一月:備前国助成	十二月:備前国助延



一文字則宗 国宝（日枝神社）

承久3年（1221年）5月14日、後鳥羽上皇は、時の執権・北条義時追討の院宣を出し、畿内・近国の兵を召集して承久の乱を起こします。

http://www7b.biglobe.ne.jp/~osaru/kamakurajidai.htm 引用

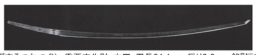
天下五剣

童子切（どうじぎり） 国宝・太刀・刃長79.9cm・反り2.7cm・銘『安綱』・作者安綱

鬼丸（おにまる） 御物・太刀・刃長78.2cm・反り3.2cm・銘『國綱』・作者國綱

三日月宗近（みかづきむねちか） 国宝・太刀・刃長80cm・反り2.7cm・銘『三条』

大典太光世（おおてんたやすよ） 国宝・太刀・刃長65.75cm・反り2.7cm・銘『光世作』



数珠丸恒次（じゅずまるつねつぐ） 重要文化財・太刀・刃長81.1cm・反り3.0cm・銘『恒次』

鬼丸の由来

鎌倉幕府の執権であった北条時政は、
いつの頃からか毎晩夢に小鬼が出てくるようになりました。
そして小鬼に苦しめられ、ついに病を患ってしまいました。

闘病中のある夜、老翁が夢の中に現れてこう言いました。
「自分は太刀国綱である。わが身は汚れている。
このままでは汝を救う事が出来ない。」

翌日さっそく国綱の手入れをし、
抜き身の状態で部屋に立てかけておきました。
すると太刀がひとりでに倒れ、
火鉢を支えていた銀の小鬼の首を切り落としました。

以来、小鬼の夢を見ることもなく、病は快方へ向かい
その太刀を「鬼丸」と名付け北条家の家宝としました。

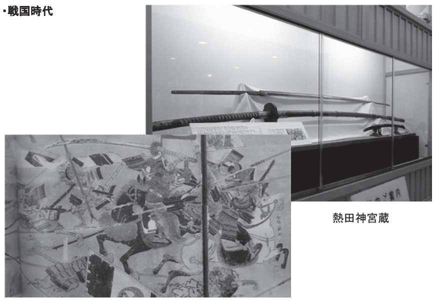
http://page4.auctions.yahoo.co.jp/jp/auction/d159893446

その後、新田義貞、足利尊氏、足利家の重宝として伝来し、足利義昭より織田信長を経て豊臣秀吉の所有となり、後に本阿弥光徳に預けられた。さらに大坂の役の後に徳川家のものとなったが、徳川家康・徳川秀忠共にそのまま本阿弥家に預けたという。その後、後水尾天皇に皇太子が御誕生した節に御所に献上されたが、皇太子が崩御したので「不吉な太刀である」とのことで再び本阿弥家に戻されたという。
以後は京都の本阿弥家によって保管されていたが、明治に至り、徳川家からも皇室からも所有権について明示がなされないことに困惑した本阿弥家が新政府に届け出、明治14年（1881年）に「後水尾天皇に献上されたものを徳川幕府を通じて本阿弥家に預けていたものである」として明治天皇の元に取り寄せられた。現在は御物として皇室の所蔵となっている。

・元寇

『蒙古襲来絵詞』 **竹崎季長は、文永の役と弘安の役で自ら戦闘に参加した武士**

・戦国時代



熱田神宮蔵

姉川の合戦で豪将・**真柄十郎左衛門直隆**（朝倉軍）の大太刀

・名工は備前とともに、名刀は大阪城とともに

数百年の長きにわたり、刀剣王国の名をほしいままにして来た備前・長船が、一夜にして潰滅するという一大惨事に見舞われた。それは戦国末期の天正18年（1590）8月15日の大洪水であった。
長船の北側を流れている吉井川が大増水した上に、長船の対岸で、上流にある熊山の山崩れがあったため、長船の近くの天王原の堤が切れたためだった。この天災の相乗作用によって、前代未聞の悲劇をひき起こした。長船も、隣の畠田もとうとうたる濁流に呑まれて、消え去った。それもおそらく夜半に不意打ちされたのであろう。

関白・秀吉は無類の刀剣好きで天下の銘刀を多く収集した。この鑑定に本阿弥光徳が当たり大阪城にあまたの刀が集積された。
これらの多くは、大阪城落城と共に灰燼と帰したが、焼身の刀を徳川家康は惜しみ、刀工・康継にその幾つかを再刃させている。

・明暦の大火 明暦3年1月18日（1657年3月2日）から1月20日（3月4日）。振袖火事

被害は延焼面積・死者共に江戸時代最大。結果的に江戸市街の6割、家康開府 以来から続く古い密集市街地はそのすべてが焼き尽くされた。 江戸城や多数の大名屋敷、市街地の大半を焼失した。死者は諸説あるが3万から10万人と記録。江戸城天守はこれ以後、再建されなかった。

火災としては東京大空襲、関東大震災などの戦禍・震災を除けば、日本史上最大のものである。

明暦の大火により消失したとされる名刀に、下記が挙げられる。
【吉光】：骨喰藤四郎、無銘藤四郎、豊後藤四郎、新身藤四郎、鎬藤四郎、飯塚藤四郎、庖丁藤四郎、米沢藤四郎、樋口藤四郎、この他三百振りくらいの吉光数多
【正宗】：三好正宗、八幡正宗、長銘正宗、対馬正宗、横雲正宗、十河正宗、シノ木正宗、伏見正宗 、この他正宗の刀数多
【江】：西カタ江、上杉江、上野江、紀州江、蜂屋江、三好江
【行平】：上野紀新大夫、秋田行平、しめ丸行平、小脇差行平、他数多
【国行】：不動国行
【国次】：青木国次、三斉国次
【国吉】：太子屋国吉、岐阜国吉
【当麻】：村雲当麻

太平洋戦争／空襲／GHQ 刀狩

接収された夥しい数の日本刀

太平洋戦争敗戦後の、連合国軍最高司令官総司令部の占領政策による。1946年（昭和21年）に銃砲等所持禁止令が施行され、民間人は狩猟用や射撃競技用以外の銃器類と、美術用以外の日本刀を所持することができなくなった。これにより100万もの刀剣が没収されたという。 また「GHQが金属探知機で探しにくる」という流言から、所有者が刀剣を損壊・廃棄したり、隠匿により結果腐朽させてしまったりして、古今の多くの刀剣が消失。

戦後GHQ（占領軍司令部）は日本人の精神性を根本から変化させるべく、各種の新基準を作り、日本人に自己罪悪感の植え付けなどと共に、日本刀の没収を謀りました。”電波探知機で家中を捜索される！””隠した者は銃殺！”等という流言飛語も飛び交い、多くの家庭で提出に応じた方がおりました。
提出に応じなかった家でも、屋根裏や土の中や物置などに隠したままにされた為、錆びて見る影も無く損耗した刀も、おびただしい数に上ります。
そのような混乱の中、幸いにも佐藤寒山博士や本間薫山先生、その他多くの方々の必死の努力に依り、美術品・鋼の芸術品として、今まで通り所持出来るようになりましたが、この間のさまざまな過程の中から、登録証の発行という新たな事務処理が生まれました。現在は新たに発見された以外はどの刀にも登録証が付いています。

戦後海外流出した刀は推定100万本と言われいます。

朝来市 竹田城址 （5年前は地元の人しか知りませんでした。）
豊かで美しい国土と精神こそ、日本歴史の遺産
新しい時代の息吹で、未来につなぐ資産

ご清聴、ありがとうございました。

弔辞

厚木ロータリークラブ
会長　前田賢一

本日ここに吉川博宣会員のご霊前にお別れのご挨拶を申し上げなければなりません。
ご旅行先にて急逝なされたことは誠に痛恨のきわみであります。
吉川会員は栃木県宇都宮市においてロータリーアンとして活動なされ、厚木の地に赴任後、自ら入会を希望されました。我がクラブでは大和ハウス工業株式会社として初めてのご入会でした。
業務多忙の中、全ての活動に積極的に参加され、特にお上手なゴルフでは泊まりがけのゴルフも企画して下さるなど、誰からも親しみをもたれる方でございました。
そして職業を通して地域社会の発展に尽くされた功績は非常に大きいと誰もが存じております。
この後も吉川会員のご人徳は永く記憶されるものでございます。心から尊敬と感謝を捧げ慎んで吉川会員のご冥福をお祈りいたします。

ふりがな	よしかわ　ひろのぶ	
氏名	吉川　博宣 会員	
生年月日	昭和 36 年 9 月 1 日	
入会日	平成24年5月30日／ 2年	1997 － 98　会長
ロータリー財団	財団の友	
職業分類	総合建設業	
事業所名	大和ハウス工業株式会社	
役職名	厚木支社　支社長	

出席報告　＜会員 38 名、出席対象 34 名＞

12 月 16 日例会　　確定出席率 86.49％	1 月 13 日例会　　出席 29 名　欠席 5 名　出席率 85.29％
＜事後メイク＞	＜欠席＞ 青山泰秀君、常磐重雄君、柳田純昭君、市川信也君、丸田隆弘君